

令和5年度 教育事業 ボランティア養成事業
「やる気！元気！ボランティア！」

1 趣旨

ボランティア活動に必要な知識や技能の向上を図り、ボランティアとしての資質を高め、広く社会でボランティア活動に取り組める青少年を育成する。

2 日程

(1) 期 日 令和5年6月10日(土)～11日(日) 1泊2日

(2) 参加者 大学生 7名 (男性3名、女性4名)、社会人 1名 (女性1名)

(3) 研修内容

6月10日(土)		6月11日(日)	
8:45	受付	6:00	起床・身辺整理
9:00	開講式	7:20	朝食(食堂)
10:00	講義「青少年教育について」	9:00	講義・実習「ボランティア活動の意義」
11:45	昼食	10:15	講義「青少年教育施設の現状と運営」
13:00	講義・実習「安全管理(救命救急講習)」	12:00	昼食
16:30	講義・実習「青少年教育施設におけるボランティア活動」	13:00	能登事業 PR タイム
	実習「ボランティア活動の技術」	14:15	ボランティア制度の説明
20:30	交流タイム	15:00	閉講式
21:15	入浴	15:30	解散
	就寝		

3 成果と課題

(1) 活動プログラムの実際

- ① サポートボランティア2名が事業運営に携わり、アイスブレイクや野外炊飯指導補助を行った。
- ② ボランティア活動の技術では野外炊飯を行った。ただ野外炊飯をするだけでなく、実際の指導での安全管理を考えながら、ボランティアとして事業に参加したことを想定して、参加者が意見交換をしながら実施した。

(2) アンケート結果について

- ① 教育事業アンケートの満足度(「満足」の評価)は、事業全体において100%、事業プログラムにおいて75%、事業運営の1項目、職員の指導・助言や対応の1項目において100%であった。
- ② アンケートの記述には「自分にとって未知の分野の学びが多くあり、学んだことを自分の成長のためにも役立てたい」「子どもの可能性を信じていることができる人になりたい」「ボランティアとしての自分の立ち位置を考えることができた」という意見があった。

(3) 成果と課題

① 成果

- ・今年度の広報は、県内の国立大学の学生課、羽咋郡市内公立高校に学生サイトへの情報掲載や学生への広報を依頼した。また、「青少年教育」の講師池田氏、「ボランティア活動の意義」の講師中野氏が所属する金沢星稜大学、新潟青陵大学にも広報を依頼した。また、法人ボランティアが所属する学生ボランティア団体にも広報した。
- ・今後のボランティア活動をしていく上での新たなネットワーク作りの場にすることができた。
- ・ボランティア登録手続きにおいて、フォームを活用したことで、円滑な登録を行うことができた。

② 課題

- ・開催日程において、ボランティア団体のイベントと重なり、参加者が限られてしまった。開催日程や募集時期を登録ボランティアに確認しながら、設定する必要がある。
- ・「『法人ボランティア』とはなんなのか、どのような内容の活動をするものなのか、事前に知らずに来たので募集案内等に説明があると良かった」との声があった為、趣旨や概要に記載する必要がある。
- ・参加者が、今後、当施設でのボランティア活動に関わってもらえるよう、引き続き事業案内等の情報発信をし、学んだことを実践できる機会を設けることが必要である。

4 事業の様子



【講義の様子】



【救急救命講習】



【野外炊飯・火付け】



【フレッシュタイム】



【集合写真】